

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6328
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9927		事務事業名称	石綿セメント管更新事務事業						短縮コード	経常	9927	臨時	
予算区分	会計	61	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
石綿セメント管更新事業(国の指導や阪神大震災の教訓から、石綿セメント管を耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管に布設替えし、水道のライフラインの維持確保。)の事業を推進するための事務事業。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
マッピングシステムを利用した設計・積算システムとのより効率的運用を図る。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化						
						細 項 目	03	緊急時対策の推進						
					実施計画の計画事業	4408	配水管等改良事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	石綿セメント管の更新に伴う水道管・下水道管等の布設状況管理。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： マッピングシステム及び設計・積算システムの契約, 設計図面作成用パソコンの契約など。						
	※平成20年度に計画していること： マッピングシステムの契約，設計・積算システムの契約等。（設計図面作成用パソコンの契約は, 今年度から廃止し, 設計図面作成をマッピングシステムにリンクした設計・積算システムに統合した。）						
意図 （何を狙っているのか）	水道管及び下水道管の布設状況を把握したり, 設計・積算システムの導入により, 設計の充実と時間の短縮を図ることによる布設替え距離の増加。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	水道管総延長	k m	614. 1	621. 5	622. 2	633
	指標 2	下水道管総延長	k m		508. 2	508. 5	510. 5
	指標 3	公共汚水桝総設置件数(マッピング入力件数)	箇所		42, 576	42, 580	42, 870
活動指標	指標 1	布設替え距離	m	9, 326	10, 000	8, 159. 5	10, 000
	指標 2	下水道管布設延長	m		3, 554	3, 554	4, 086. 5
	指標 3	桝設置件数	箇所		290	286	290
成果指標	指標 1	石綿セメント管布設割合	%	24. 5	22. 5	22. 8	20. 9
	指標 2	下水道管処理普及率	%		92. 4	92. 4	92. 4
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		9927	事務事業名称	石綿セメント管更新事務事業			所属名	建設課
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	36,095	30,879	29,755	23,767	
		その他	千円				8,451	
	主な事業費の内訳			委託料26,697千円・賃借料8,504千円等	委託料16,497千円・賃借料12,707千円等	委託料15,615千円・賃借料12,707千円等	委託料18,703千円・賃借料12,055千円等	
人件費(B)			千円	25,188.4	28,568.7	16,470.1	11,885.9	
トータルコスト(A)+(B)			千円	61,283.4	59,447.7	46,225.1	44,103.9	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		本事業は、管更新事業との関連性がありその推進状況と同調推移するものである。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		石綿セメント管更新事業を計画的かつ効率的に推進するには積算業務の拡充をする。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		関連する事業が法的（水道法）に市が行なうことからその状況に併せ推進すること。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		毎年計画的に更新を進める。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		体制の充実及び職員の研修。 マッピングシステムと結びついた設計・積算システムの一層の有効的活用。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1	石綿セメント管更新事務事業	実施主体 (所管部署)	建設課
			☒ 上記以外の方法						
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		設計・積算システム等の導入経費が一時的に増える。		
	☐ ない								

コード	9927	事務事業名称	石綿セメント管更新事務事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			体制の充実及び職員の研修。 マッピングシステムと結びついた設計・積算システムの一層の有効的活用（0・A機器の増設及び充実）。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			0A機器の増設及び充実に経費がかかる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
石綿セメント管更新事業の早期完了するための事務の効率化。									

所属長コメント	石綿セメント管更新事業に係る事務的業務であるが、 今後は経費の削減・成果の向上を図りたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			可能なことは順次推進すべき。またマッピングシステムと連動したシステムについては費用対効果を検証したうえで推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									